授業推進改善プラン

担当教科（　美　術　）　　学年（　１学年　）

学力調査・アンケート等の課題分析

〇美術を好きな生徒が多い。
〇美術が好き・嫌いに関わらず、積極的に取り組んでいる生徒が非常に多い。

授業等の課題分析

〇授業では積極的に課題に取り組んでいる。作品に関しても、自分なりの良い作品に仕上げようとしている。決められた時間の中で、作品を仕上げ提出する意識はもう少し身に付けさせたい。
〇既習した知識や技術を生かして制作できるよう、生徒の現状を踏まえて題材の設定や指導の組み立てを行い、すべての生徒が「学ぶ楽しさ」を感じられる授業を展開できるようにする。

目指す授業

〇基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、多種多様な表現の美しさを理解し発想を生み出すことができる授業。
〇自分の考えや思いを、発表したり表現したりすることができる授業。

授業改善のための具体的な方策

〇２学期半ばまでは基礎を学習し、既習した学習を活用して取り組める題材を設定し表現の楽しさに触れさせる
〇教材、教具の使い方や片付け方など指導しながら、共同で大切に使用する意識を育む。
〇学習の内容やめあて、振り返りをする意図を指導し、表現活動や提出期限に生かす力を育てる。
〇様々な素材の触感や道具の使い方を楽しむ活動から、造形への構想を広げ「学ぶ楽しさ」を育てる。
〇制作者の考えや思い・意図などを調べて発表・紹介したり、自分の考えを発表したりしながら表現の楽しさを味合わせる。

授業改善推進プラン

担当教科（　美　術　）　　学年（　２学年　）

学力調査・アンケート等の課題分析

〇わかった・できたと感じる機会がない。学ぶ楽しさを感じない。と回答した生徒が１％程度いるが、授業に積極的に取り組んでいると回答している。
〇昨年度より、自分の考えを発表したり、授業の振り返りをしたりする機会があると回答し、自分の考えや思いを広げて表現活動に取り組んでいる生徒が多い。

授業等の課題分析

〇授業の学習内容や目標を毎授業で提示することにより、制作の見通す力が身に付いてきて、提出期日を考えながら制作する生徒が非常に多くなった。
〇授業に積極的に取り組んでいると回答している生徒の中に、わかった・できたと思えていない生徒が少数いる。その生徒が「学ぶ楽しさ」感じられるように、誰にでもわかる授業を展開する。
〇授業で学習した知識や技術が自分の生活や社会の中で生かされ根ざしていることを、授業や課題を通し伝え指導しすべての生徒が「学ぶ楽しさ」見出せるように工夫する。

目指す授業

〇基礎的・基本的な知識と技術や多様な表現の美しさを理解して、豊かに発想し創造する授業。
〇自分の考えや感じたことを言語化し、表現することができる授業。
〇完成までの行程を見通しながら、自分で制作過程そのものを工夫修正する授業。

授業改善のための具体的な方策

〇美術科で学習した知識や技術が自分の生活や社会の中に生かされ根ざしていることを、授業や課題を通し伝え指導しすべての生徒が美術を「学んで楽しい」と見出せるように、課題設定や指導を工夫する。
〇鑑賞活動など、感じたことや表現意図を言語化し伝える力を育成する機会を充実させる。
〇制作時間に見通しを持たせ、計画的に制作する指導を行う。

授業改善推進プラン

担当教科（　美　術　）　　学年（　３学年　）

学力調査・アンケート等の課題分析

〇昨年度までに比べ積極的に参加していると答えた生徒が増えた。
〇制作活動を比較的に苦手とする生徒が、積極的に取り組んでいると回答する数値が増えた。
〇板書や資料がわかりにくいと回答した生徒が１％いた。

授業等の課題分析

〇３年に進級したことをきっかけに、積極的に参加し課題に取り組もうとしている生徒がとても多くなったので、作品完成までの計画的な取り組みを考えながら、授業でやるべきことや提出日を見通して制作する力を付け、週１時間の授業をさらに積極的に取り組ませる。
〇卒業に向け学習した知識や技術を生かして制作できるようにし、授業を振り返って見たり考えたりしながら「学ぶ楽しさ」を感じ生活の中の美術を楽しめるような力を養う授業を行う。
〇授業で使用するパワーポイントをわかりやすく修正して手直しを加える。

目指す授業

〇基礎的・基本的な知識と技術や多様な表現の美しさを理解して、豊かに発想し創造する授業。
〇自分の考えや感じたことを言語化し、表現することができる授業。
〇完成までの行程を見通しながら、自分で制作過程そのものを工夫修正する授業。

授業改善のための具体的な方策

〇制作過程を自分で見通したり振り返ったりしながら、制作計画の修正をしながら完成予定日や提出期限に送れない指導を継続して行う。
〇ワークシートや進度計画表を使い、振り返りをして見通す力や表現を工夫する力を育み、学ぶ楽しさを感じることができるようにする。
〇美術と社会・生活に関連付けて学習内容や題材を設定し、美術で育んだ力を人生の中で活用できるようにする。
〇既習した内容や表現方法を活用し、自分の創造活動の窓口を広げることができる題材や授業を実施する。
〇振り返りに使う進度表も含め、感じたことや表現意図などを言語化し、伝える力を育成する機会を充実させる。